



いわき市立大野中学校

学校だより 第4号

令和元年 6月25日(火)
発行責任者：校長 田中 淳一
TEL：0246-33-2233

教育目標：自立と貢献

めざす学校像：志を育む学校

学び合い、高め合う学校

信頼され、愛される学校

市中体連総合大会

6月13日(木)～17日(月)の期間中、市中体連総合大会が各競技ごとに開催されました。本校各部の結果は以下のとおりです。温かいご声援、誠にありがとうございました。

<軟式野球>

1回戦：大野中・四倉中連合 3-2 勿来一中

2回戦：大野中・四倉中連合 0-1 小名浜二中



<ソフトテニス>

男子個人戦：2ペア中1ペアが3回戦まで進出

女子個人戦：4ペア中1ペアが3回戦まで進出

男子団体戦：大野中 0-3 平三中

女子団体戦：大野中 1-2 三和中



<バスケットボール>

男子：1回戦 大野中・久之浜中連合 54-39 赤井中

2回戦 大野中・久之浜中連合 20-96 平三中

女子：1回戦 大野中・久之浜中連合 26-113 玉川中



<バドミントン>

3年女子 第3位(県大会出場)



<水泳>

3年男子 100M バタフライ 優勝(県大会出場)

同 200M バタフライ 優勝(県大会出場)



本校では、生徒たちの活動の様子などをホームページに毎日アップしています。ぜひご覧ください！！

[いわき市立大野中学校ホームページ](#)

[検索](#)

<7月の主な行事予定>

1日(月) 3年学力テスト

2日(火) いわき北地区中学生弁論大会

4日(木) 職場体験、福祉体験(～5日)

8日(月) 市教育長等訪問

9日(火) 3年学習会

11日(木) 性に関する指導(3年)

11日(木) 3年学習会

12日(金) 全校体育、親子ふれあい弁当 Day

16日(火) 3年学習会

18日(木) 3年学習会

19日(金) 第1学期終業式

25日(木) 3年三者面談(～8月1日)

※ 夏季休業：7月20日(土)～8月25日(日)

放課後の学習会

6月20日（木）から、3年生の放課後学習会「スタディタイム」をスタートさせました。初日の教科は数学です。3年生は自ら選んだ3つのコースに分かれて、各自の課題に取り組みました。また、今年度の学習支援（県教委サポートティーチャー）には、齋藤洋子先生をお招きしました。本校教員とサポートティーチャーが連携して、スタディタイムの学習支援に当たっていきます。



また、6月24日（月）は、全学年でスタディタイムを行いました。期末テストに向けて生徒自身が希望する教科を選び、教科ごとに割り振られた教室へ移動して学習しました。自主学習が基本ですが、分からない問題を教え合ったり、先生に質問したりしながら学習に取り組んでいました。授業の補充・発展や家庭学習への橋渡しとなるように、生徒たちにはスタディタイムを有効活用してほしいと考えています。



全校集会（6月）における校長メッセージ

市中体連総合大会が終わり、大野中も新たなステージを迎えています。今年は駅伝部の襷はつながるのでしょうか。3年生から生徒会のリーダーを引き継ぐことのできる1・2年生は誰になるのでしょうか。小さな学校の強みを生かしてワクワクするようなチャレンジができる学校、一人一人の個性がさらに生かされるような学校にするためにはどんな改善が必要になるのでしょうか。生徒の皆さん、先生方、保護者や地域の皆さんと一緒に、試行錯誤するプロセスを楽しみながら、真摯に考えていきたいと思えます。

大野中生の強みは、「粘り強いところ」「人の話をよく聞くところ」「自分の果たすべき役割を考え、周囲の人と力を合わせて行動できる場所」などです。課題は、「難しいことには失敗を恐れて挑戦しない」「調べたいことや知りたいことがある時、自ら進んで資料や情報を集めたり人にたずねたりしない」「家庭で読書をしたり、新聞を読んだりする習慣がない」傾向が見られることです。残された中学校生活の中で、皆さんの礼儀正しさや誠実さといった強みをさらに伸ばしながらも、主体性を身に付け、「井の中の蛙」とならないためのチャレンジを学校の中でも外でもぜひしてください。

最後に、来年度から県立高校の入試制度が大きく変わる話です。最大の変更点は、志願者全員に学力検査を課すことです。県教育委員会に対して、「全員に学力検査を課すことになったのはなぜですか。」と質問したところ、「志願者全員に学力検査を課すことによって、受験生の皆さんが3月までしっかり学習に取り組めるようにし、4月から高校生活へ円滑に進んでいけるようにするためです。」との回答を得ました。この回答からは、各高校が生徒の学力に危機感を抱いていることが分かります。皆さんの中には、高校受験や大学受験があることで、勉強は受験のためにするものだと思っている人も多いかもしれません。しかし、その考えは間違いです。その証拠に、多くの大人が皆さんの使っている教科書を読むと、「将来社会に出て仕事をし、自立した人間として生きるために必要な内容ばかりですね。」という感想を述べられます。つまり、学校での勉強や受験勉強で身に付く力は、将来に役立つと断言できるのです。そのためにも、高校や大学に入るためだけの勉強にならないようにしてください。



私たちも皆さんが、生きて働く知識・技能、未知の状況で活用できる思考力・判断力・表現力等、学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性を養うことができるような授業、そして学校をつくっていきます。

